

六月四日 つづき

十七時五反田TOC・TOMOCOポーレーションで2M×3Mの曼陀羅を見る。世界中の民芸品その他を販売している会社で、アジア各地で見かけるおみやげ物としての民芸品はあらかた扱っているようだ。面白い商売があるものだ。カトマンドウで売っている手描き風カレンダーは皆この会社のデザインであるらしい。先年宮崎のアフリカ屋という民芸屋でフィリピン製のアフリカ家具をつかまされた事があり、この世界の品物の流通が極めて歪んだものになっているのを知った。ここTOCでは更にそれが歴然と理解できる。世界中のありとあらゆるその土地の民芸品らしきは何処で作られているかわからない。

六月五日

今日から家内がアメリカ在の長女に会いにゆくため一週間程の旅をする。長女徳子のPhD取得のお祝の会がニュージャージーで開かれるので、それに出席するため。

朝心配になって杉並現場へ。案の定色んなボロが出ていて何点か指示。テラスと一階の広い部屋の関係はうまくいっている。しばらくはこの感じで続けてゆこう。車で現場に行く道すがら長男雄大と四方山話。少しはしっかりした考えを持ち始めたようだ。プロセスはともかく将来は自分で何かをやってみようという意志

があるようだ。体育会系のヨット部でだいぶんもまれたな。良い

先輩方も多いようでマア良かったのではないだろうか。

十五時二川幸夫来室。演習G。バウハウスのツインマーマン教授から正式に演習Gへのアテンドの意向が届いた。

二川幸夫「君も良くインターネットに色々書くね、何故あんなことするの。」しかし、こればかりはね、いかに二川さんといえども、俺は止めないの。このメモはもう呼吸するみたいになってきてるから。

六月六日

昨夜来小雨が降ったらしい。屋上菜園の土がぬれていた。今日は埼玉市で家を建てたい人が面会に来るので楽しみだ。十二時明治通りコンバージョンプロジェクトで来客。十五時半、朝山さん等来室。家を建てたいという中身をつかがう。好人物でこちらが恐縮してしまうような人であった。こういうひとは裏切れない。朝昼抜きで腹ペコペコで十七時おにぎり2ヶ食う。

時代はまわる。昔、秋葉原感覚で住宅を考えるを出した時、沢山の人間が私の事務所に押しつけてきた。年間百五〇組くらいの依頼、相談に乗った記憶がある。一九八〇年代の謂わゆるバブル期、それはパツタリ途絶えた。合理的な値段で家を作ろうなんて人はいなくなったからだ。家土地は投機的意味合いを強めた。バブル経済が崩壊し、今二〇〇二年静かなペースではあるが再び依頼相談の件数が増えつつある。再び静かな時代になったからだ。私はズーツと同じことを言い続けている。時代が勝手にまわるだけなのだ。